

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 期末配当金 毎年3月31日
単元株式数 100株
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 〈住所変更等用紙のご請求〉
☎ 0120-175-417
〈その他のご照会〉
☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)
<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
同取次所 住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

【株券電子化前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて】

特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(平成21年1月5日)から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。また、平成20年12月25日から30日までに請求いただいた場合は、代金のお支払は平成21年1月26日以降となります。
※単元未満株式について「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されている株主様につきましては、上記取扱と異なりますので、お取引の証券会社へお問い合わせください。

【株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について】

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後の住所変更等のお届出先およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開届いたします。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載する
<http://www.ferrotec.co.jp/>
上場証券取引所 ジャスダック証券取引所
J-STOCK銘柄
証券コード(6890)

FerroTec

株式会社 フェローテック

〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
TEL 03-3281-8808 FAX 03-3281-8848
URL <http://www.ferrotec.co.jp>



このマークは株式会社ツバルの森が提供する太陽光発電によるグリーン電力証書の利用を証するものです。
株式会社フェローテックは、本誌の制作(印刷)時に消費する電力相当をグリーン電力証書を利用することで、環境に配慮した冊子制作を行うとともに、日本における自然エネルギーの普及促進に貢献しています。



第29期 第2四半期決算報告

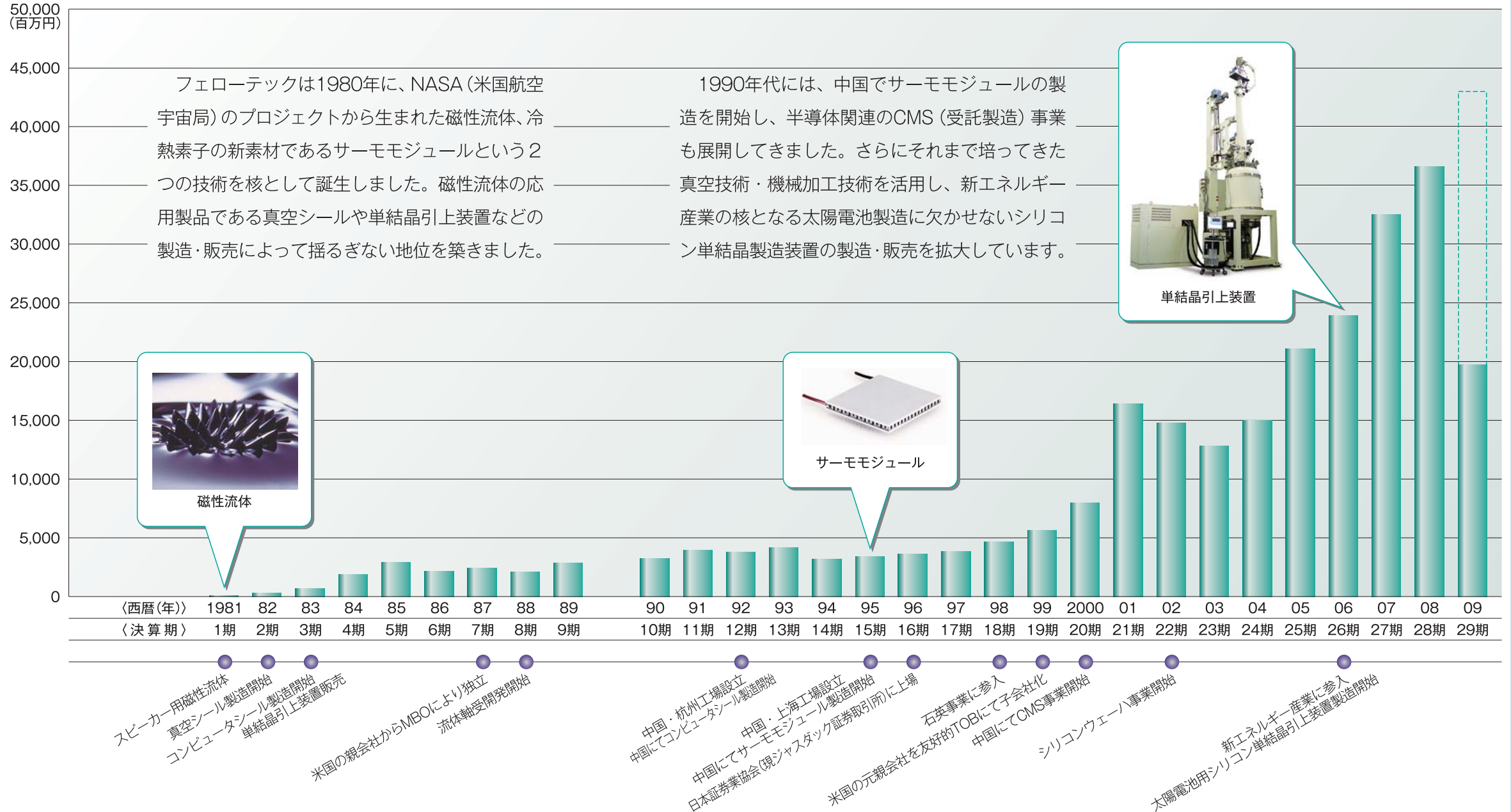
BUSINESS REPORT

平成20年4月1日～平成20年9月30日
証券コード:6890

FerroTec
株式会社 フェローテック

フェローテックって どんな会社？

売上高の推移



急成長する太陽電池製造のコアになる装置を、高度な技術力によって支えるフェローテック。

——誰もが聞きたい質問に
山村社長がお答えします。

代表取締役社長 山村 章



フェローテックはこんな会社です

Q 社名の「フェローテック」の由来を教えてください。

フェロー（Ferro=鉄）、テック（Technology=技術）からの造語です。

Q 社名を聞くと外資系のように思えるのですが。

当社は1980年に米国フェローフルイディクス社の日本法人として設立された外資系企業でした

が、1987年にMBO（マネジメントバイアウト）によって独立しました。さらに1999年には、元の親会社をTOB（株式公開買付）によって子会社化しました。

Q 社長は創業社長ですか？ 創業時から現在のような製品開発を目指していたのですか？

米国の大学院に留学し、その後米国の企業で磁気軸受やサーモモジュールの研究開発をしてい

て、1979年に米国フェローフルイディクス社に入社し、翌年日本法人を設立しました。当初は磁性流体を利用したコンピュータシールが主力商品で売り上げの9割を占めていましたが、その後も積極的に半導体関連の技術開発を進め、真空シールやサーモモジュールが主力になり、最近では太陽電池関連が急速に伸びています。

太陽電池関連製品が伸びています

Q 太陽電池関連製品の売上が増えているのですが、そもそも太陽電池のどこに関わっているのですか？

太陽電池パネルの元となるセルの製造装置と、その装置内で使用される消耗品である石英るつぼを販売しています。

Q シリコン単結晶引上装置に加え、多結晶製造装置の販売もスタートしましたが、営業の状況は？

シリコン多結晶製造装置は本年3月に販売を開

Q 事業セグメントを変更しましたが、どうしてですか？

太陽電池関連製品の売上高が増え、連結売上高への重要性が増したため、今期の第1四半期決算発表より、太陽電池関連事業を加えて、装置関連事業、電子デバイス事業、CMS事業とともに4事業セグメントに分けました。

始いたしました。受注、引き合いともに順調です。

Q 製造装置は中国での需要が大きいようですが、足元の中国市場の状況はどうか？

当社の顧客である中国のセルメーカーは非常に活況を呈しております。本年6月には、中国企業数社からシリコン単結晶引上装置400台、シリコン多結晶製造装置60台に上る受注を得ました。シリコンインゴットの原材料であるポリシリコンが安定供給されたら、さらに需要が拡大すると思います。

Q》》 太陽電池の需要は世界的に増えているのですか？

特にヨーロッパやアジアの太陽光発電市場の伸びは著しいです。ドイツや韓国など電力料金の買い取り価格に大幅な補助金を出して優遇している国が増え、多くの投資ファンドが資金を募って太陽光発電所の建設が進められています。

Q》》 今はバラ色の太陽電池ですが、これほど注目されるようになったのは最近のことですね。いつ頃、太陽電池への参入を決断したのですか？

あるお客さまからの要望により開発、製造したのがきっかけです。当社は1980年代初頭に米国親会社から半導体製造装置の輸入販売をしていた実績があり、装置に関してのノウハウがありました。また、生産拠点の中国工場もさまざまな加工品を生産することで徐々にではありましたが、生産技術を身につけることができていました。製造装置の主要部分に当社が製造開発した真空シールや石英つぼなどを利用できることもあって、2005年に参入を決断しました。

将来への投資も怠りません



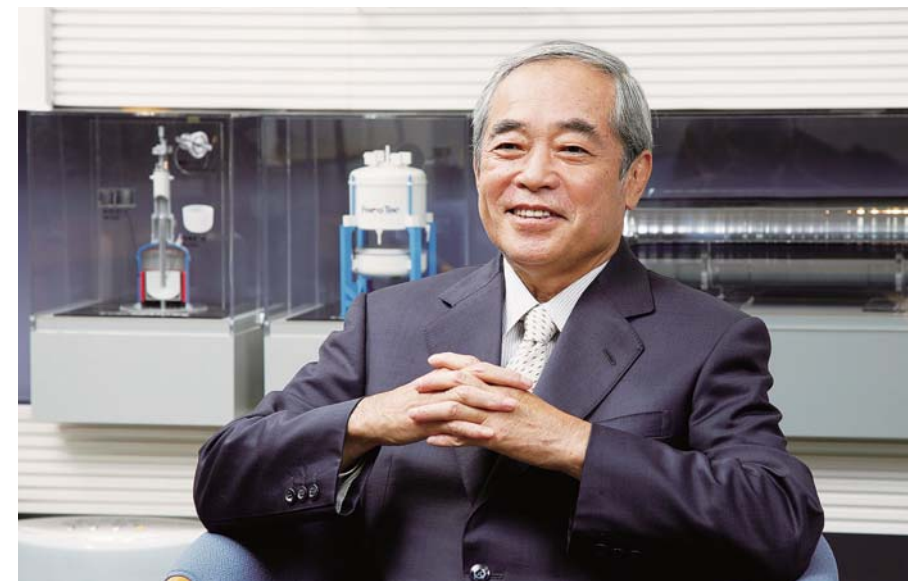
Q》》 セラミックスの会社を子会社化しましたが、いくらで取得したのですか？ 規模はどのくらいですか？

取得価額は約28億円です。資本金4億8,500万円、従業員数173名で、売上高は40~50億円規模の会社です。石川県白山市と兵庫県尼崎市に工場があります。

Q》》 セラミックスということですが、具体的にはどんな製品を作っているのですか？

ファインセラミックス製品とマシンブルセラミックス製品を製造しています。ファインセラミックスは、高純度・高剛性・高精度が要求される半導体・液晶製造（ウェハー製造、処理、組立、検査）の各プロセスに使用される部品や、一般産業機械分野で使用される耐摩耗・耐熱・耐薬品用部材に適しています。

マシンブルセラミックスは、電器絶縁性・断熱性・耐熱性にすぐれ、様々な精密加工が可能な快削性セラミックス（削れるセラミックス）です。短納期という特性を活かして、半導体・液晶製造や設計から試作までのリードタイムの短縮に適した材料です。

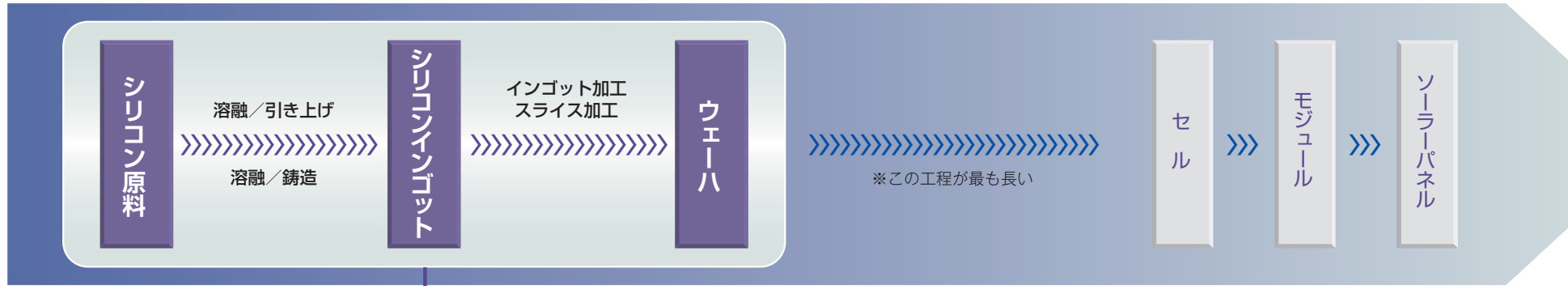


Q》》 2008年第2四半期の結果をどう見えますか？ ここまでの進捗で通期の計画は達成できそうですか？

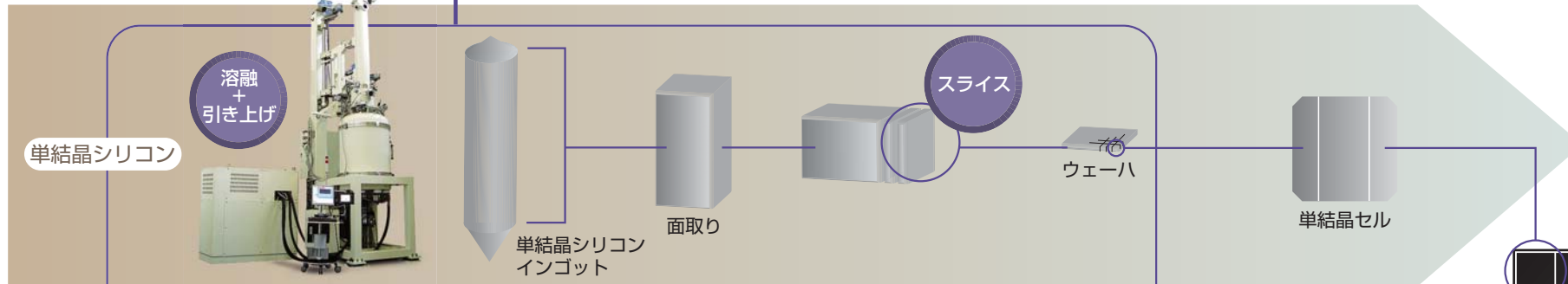
この11月に当期の業績予想を見直しました。連結での売上高430億円、営業利益37億円、当期純利益16億円を見込んでいます。太陽電池関連事業が好調なことから、この数字を達成できるよう、さらに努力してまいります。

太陽電池ができるまで

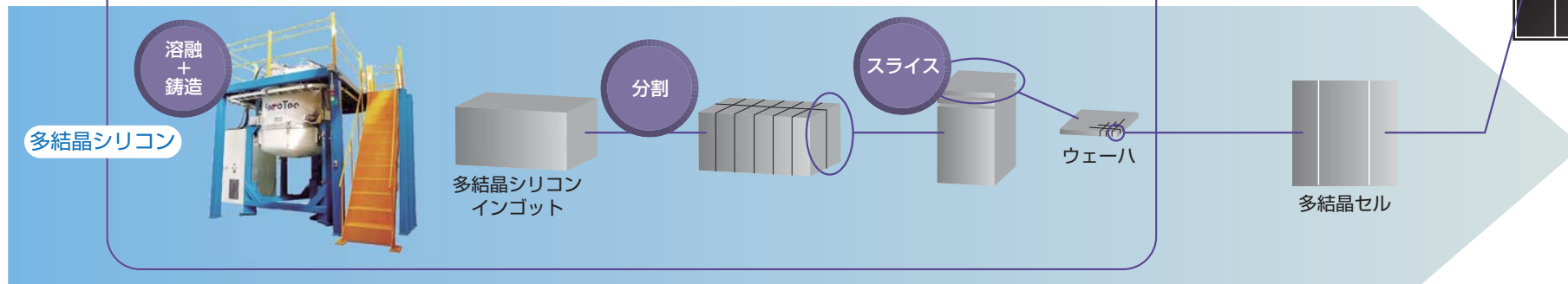
● フェローテックは、シリコン原料からウェーハを製造するまでの工程に携わっています。



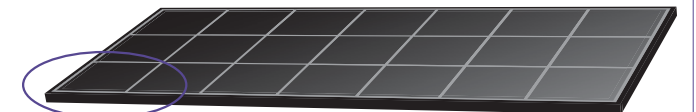
ソーラーシステム (工業用)



※約10cm×10cm
太陽電池の最小単位



モジュール



ソーラーパネル (住宅屋根用)

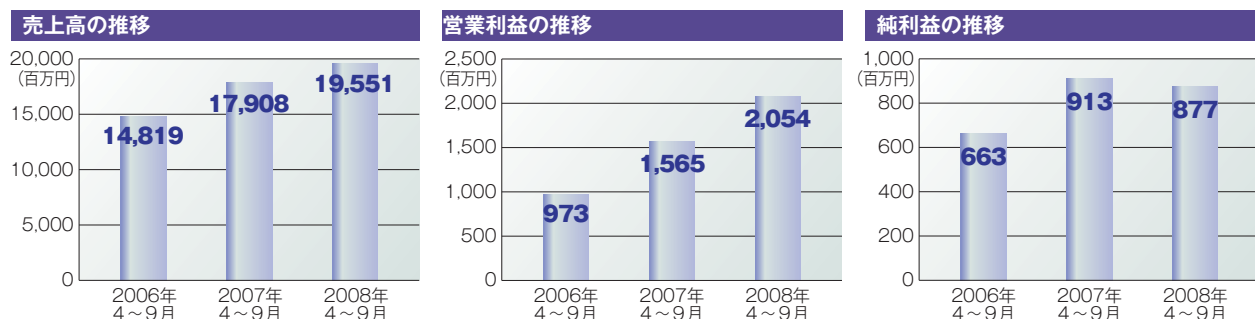
フェローテックは、太陽電池製造工程の中で、シリコン原料からシリコンインゴットを製造する単結晶シリコン引上装置、多結晶シリコン製造装置を製造・販売しています。

営業の概況

※2009年3月期第1四半期から「太陽電池関連事業」を新設、従来の3事業から4事業としました。

当社グループの事業は、「装置関連事業」「太陽電池関連事業」「電子デバイス事業」「CMS事業」の4事業から構成されています。この4事業を合わせた2009年3月期第2四半期(累計)

の連結業績は、売上高195億5,100万円(前年同期比9%増)、営業利益20億5,400万円(同31%増)、四半期純利益8億7,700万円(同4%減)となりました。



装置関連事業

売上高87億8,600万円

装置関連事業では、主に半導体やFPD(フラットパネルディスプレイ)の製造装置に使用される真空シール、石英製品、シリコン製品などを製造・販売しています。

当第2四半期、半導体関連はIC製品などの需要低迷から設備投資の抑制が続く一方、FPD関連は液晶パネルメーカー各社の設備投資再開を受け、次世代型のパネル用途を中心に順調に回復しました。このような状況のもと、当社グル

ープの主要製品のひとつである「真空シール」は、半導体製造装置向けが低迷したものの、FPD製造装置や薄膜系及びシリコン系の太陽電池用各種製造装置向けが増加し、売上高が伸張しました。一方、半導体製造プロセスに使われる石英・シリコン・セラミックスの各製品は半導体市場が主な販路であるため、減収を余儀なくされました。

太陽電池関連事業

売上高42億9,100万円

2009年3月期第1四半期より新設された太陽電池関連事業では、主に太陽光発電パネル(太陽電池)向けシリコン結晶(インゴット)製造装置、石英るつぼ、太陽電池向けシリコン製品(シリコンインゴット)などを製造・販売しています。

世界各国でのCO²削減意識の高まりによる太陽電池パネルの需要急増に伴い、太陽光発電

産業は、急速な市場拡大が続いています。とりわけ中国市場での太陽電池セルメーカーからのシリコン結晶製造装置の引合いが強くなり、この7月に単結晶・多結晶製造装置の大型受注を獲得し、出荷も順調に進んでいます。また、シリコン製品の売上高が順調に増加しているほか、単結晶製造装置に使用される「石英るつぼ」の販売も順調に増加しています。

電子デバイス事業

売上高28億6,500万円

電子デバイス事業では、自動車温調シート向け「サーモジュール」、磁性流体などの開発・製造・販売を手がけています。

サーモジュールは、米国市場での高級自動車の販売台数が激減したことにより、自動車温

調シート向けの減少が始まりました。この対策としてバイオ・医療機器・民生機器など他産業向けに営業強化策を実施した結果、売上高、利益面ともに前年同期の実績を上回ることができました。

CMS事業

売上高45億4,600万円

CMS事業は、受託契約による他社製品を製造する事業であるため、顧客との守秘義務契約に伴う制約から詳細な記載は控えています。「シリコンウェーハ加工」は半導体市況の落ち込みにより若干減少しましたが、「装置部品洗浄」、

「工作機械製造」および「表面処理」などが概ね計画のとおりとなりました。

※売上高はセグメント間の内部売上高を含みます。

四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第29期第2四半期 平成20年9月30日現在	第28期 平成20年3月31日現在
資産の部		
流動資産	26,311	18,906
現金及び預金	8,823	5,461
受取手形及び売掛金	8,856	6,961
商品及び製品	1,826	1,736
仕掛品	2,069	941
原材料及び貯蔵品	2,554	1,754
その他	2,284	2,141
貸倒引当金	△ 103	△ 91
固定資産	24,567	22,067
有形固定資産	18,452	16,327
建物及び構築物(純額)	5,734	5,425
機械装置及び運搬具(純額)	6,553	5,661
工具、器具及び備品(純額)	2,473	2,262
土地	2,836	2,579
建設仮勘定	855	398
無形固定資産	3,779	3,073
のれん	2,772	2,067
その他	1,006	1,006
投資その他の資産	2,335	2,665
資産合計	50,879	40,973

10 ※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	第29期第2四半期 平成20年9月30日現在	第28期 平成20年3月31日現在
負債の部		
流動負債	22,249	14,252
支払手形及び買掛金	6,117	4,147
短期借入金	8,257	3,332
一年内返済予定長期借入金	3,158	2,930
未払法人税等	574	703
賞与引当金	384	173
製品補償引当金	290	-
その他	3,467	2,966
固定負債	6,699	5,219
社債	100	100
長期借入金	5,890	4,299
退職給付引当金	40	29
役員退職慰労引当金	57	6
その他	611	784
負債合計	28,949	19,472
純資産の部		
株主資本	20,044	19,569
資本金	7,535	7,320
資本剰余金	8,137	7,922
利益剰余金	4,458	4,413
自己株式	△ 86	△ 86
評価・換算差額等	1,295	1,725
少数株主持分	589	206
純資産合計	21,929	21,501
負債純資産合計	50,879	40,973

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第29期第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	第28期第2四半期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	19,551	17,908
売上原価	13,208	12,629
売上総利益	6,343	5,278
販売費及び一般管理費	4,288	3,712
営業利益	2,054	1,565
営業外収益	239	238
受取利息	66	25
その他	173	213
営業外費用	475	383
支払利息	223	217
為替差損	99	-
その他	152	165
経常利益	1,819	1,421
特別利益	125	44
投資有価証券売却益	10	-
持分変動利益	63	-
その他	51	44
特別損失	498	142
固定資産処分損	37	66
減損損失	51	-
製品補償引当金繰入額	290	-
その他	118	76
税金等調整前四半期純利益	1,447	1,323
法人税等	548	408
少数株主利益	20	1
四半期純利益	877	913

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第29期第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	第28期第2四半期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,607	2,672
税引等調整前四半期純利益	1,447	1,323
減価償却費	1,199	1,159
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	290	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	183	△ 58
売上債権の増減額 (増加：△)	△ 591	△ 462
たな卸資産の増減額 (増加：△)	△ 1,190	△ 608
仕入債務の増減額 (減少：△)	1,436	△ 67
法人税等の支払額	△ 809	△ 234
その他	643	1,619
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 7,146	△ 1,465
定期預金の預入による支出	△ 2,676	-
有形固定資産の取得による支出	△ 1,432	△ 1,329
連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△ 2,981	-
その他	△ 56	△ 135
財務活動による キャッシュ・フロー	5,217	△ 101
短期借入金の純増減額 (減少：△)	3,265	△ 97
長期借入れによる収入	3,528	1,429
長期借入金の返済による支出	△ 1,996	△ 1,301
その他	420	△ 131
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	144
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	684	1,250
現金及び現金同等物の期首残高	5,461	3,225
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,146	4,476

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

11

■ 太陽電池関連製品の事業説明会を開催

当社は、本年7月24日に、証券アナリスト、機関投資家を対象とした太陽電池関連製品の事業説明会を開催いたしました。当日は、常務取締役賀賢漢が『中国太陽電池産業の状況と展望』と題し、成長性の高い中国の太陽電池関連製品市場における当社の取り組みと進捗状況、将来の売上げ拡大の見通しについて説明を行いました。この模様は当社のホームページからご覧になれます。



太陽電池関連製品を生産する上海漢虹精密機械有限公司

■ 子会社取得によりセラミックス事業に参入

当社は、本年7月に住金セラミックス・アンド・クォーツ株式会社の株式を取得して子会社とし、同社の商号を株式会社フェローテックセラミックスに変更しました。フェローテックセラミックスは、高純度ファインセラミックス製品や半導体検査装置部品向けのマシナブルセラミック製品などの高度な材料開発技術を有しています。同社の製造・販売ノウハウと、当社の海外事業所が持つ半導体業界での販売ネットワークとの融合により、セラミックス製品の研究開発力の強化と生産能力の増大が期待されます。



厳しい品質管理のもとで生産されるファインセラミックス製品



優れた機械加工性を実現するマシナブルセラミックス製品

会社概要 (平成20年9月30日現在)

商号 株式会社フェローテック
 (英文表記) Ferrotec Corporation
 設立 昭和55年9月27日
 資本金 75億3,525万9,787円
 株式公開 JASDAQ 平成8年10月18日
 決算期 3月31日
 従業員数 181名

■事業所
 本社 〒104-0031 東京都中央区京橋1-4-14
 関西営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町4-6-17 本町KGビル8F
 東北営業所 〒965-0102 福島県会津若松市真宮新町北2-53
 釜石事業所 〒026-0302 岩手県釜石市片岸町3-35
 千葉テクニカルセンター 〒289-2131 千葉県匝瑳市みどり平1-4

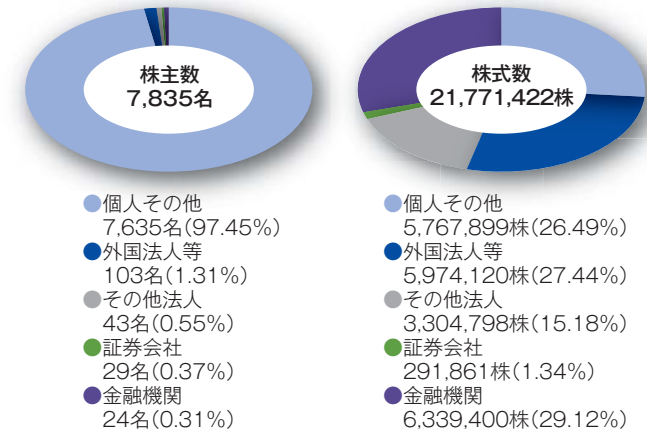
■役員
 代表取締役社長 山村 章
 常務取締役 賀 賢漢
 取締役 有賀 敬治
 取締役 吉田 勝
 取締役 小松 輝寿
 取締役 山村 文
 取締役 椿 勲
 社外取締役 山根 威人
 常勤監査役 宮田 賢一
 監査役 野口 光夫
 監査役 井上 朗

■グローバルネットワーク
 国内
 株式会社フェローテッククォーツ(東京) 株式会社フェローテックセラミックス(東京)
 株式会社フェローテックシリコン(東京) アリオンテック株式会社(山形)
 海外
 杭州大和熱磁電子有限公司(中国杭州市) Ferrotec(USA) Corporation(アメリカ)
 上海申和熱磁電子有限公司(中国上海市) Ferrotec GmbH(ドイツ)
 上海漢虹精密機械有限公司(中国上海市) Ferrotec Ltd.(イギリス)
 香港漢虹新能源裝備集團有限公司(香港) Ferrotec S.A.(スペイン)
 台湾飛羅得股份有限公司(台湾) Ferrotec S.R.L.(イタリア)
 Ferrotec Korea Co., Ltd.(韓国) Ferrotec SARL(フランス)
 Ferrotec Corporation Singapore Pte.Ltd. SCTB NORD(ロシア)

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

大株主	株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,967,800	9.04
2	株式会社小松製作所	1,820,000	8.36
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,260,900	5.79
4	株式会社クボタ	1,200,000	5.51
5	山村 章	867,200	3.98
6	日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	680,500	3.13
7	バンクオブニューヨーク・ジェシー・エム・クライアントアカウント・ジェイ・ピー・アール・デ・アイ・エス・ジー・エフ・イー・エイ・シー	573,500	2.63
8	株式会社三菱東京UFJ銀行	420,000	1.93
9	住友信託銀行株式会社	400,000	1.84
10	ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー・レギュラー・アカウント	329,400	1.51

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式 93,344 株は上記の円グラフ中の株主数・株式数に含まれていません。